

# HAゴシックアーチ・トレーサー

**ゴシックアーチ記録により、  
正確な下顎位診断。**

咬合や顎機能診断は、ますます重要視されています。無歯顎はもちろん有歯顎の症例に於いても、顎機能の回復に下顎位の審査や診断は欠かせません。

トレーシング・ピンもネジ式になり、使いやすくなっています。

HAゴシックアーチ・トレーサーは阿部晴彦先生のご指導により製品化いたしました。



描記板

スペーサー

トレーシング・ピン

## 特 長

- 下顎にトレーシング・ピン(描記針)を装置するため、高径を変える時、下方からドライバーで簡単に1回転1mmの調整が可能です。
- 中心位・側方位の顎間関係記録取得には、得られたゴシックアーチ上に各々ラウンドバーで嵌入孔を設け、描記針を嵌入することにより、記録材が硬化する間、一定の顎位に固定・確保することができます。
- 描記板にプラスチックを使用するため、そのまま保存することが可能です。
- 専用のスペーサーを使用することで、描記板と描記針を直交した状態に装着できます。



インク 8ml(赤色)は別売りにてご用意しております。

### ●セット内容:

トレーシング・ピン…………… 大小各1個  
スペーサー…………… 1個  
描記板…………… 10枚

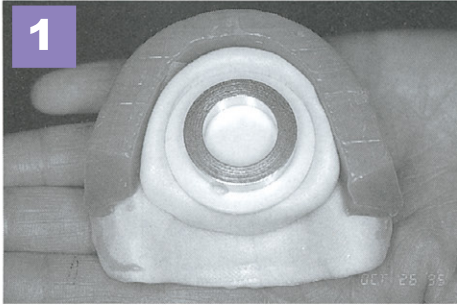
※トレーシング・ピン/スペーサー/描記板/インク  
それぞれ単品販売もございます。

株式会社 東京歯材社

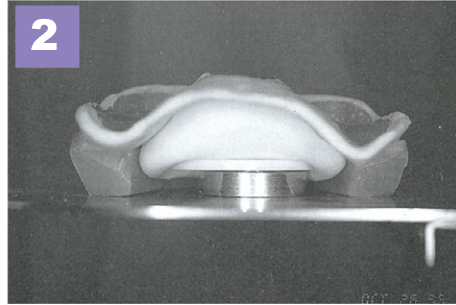
商品センター 〒110-0004 東京都台東区下谷3-13-5 TEL.03-3874-5077 FAX.03-3874-5091

本社 〒110-0001 東京都台東区谷中2-5-20 TEL.03-3823-7501 FAX.03-3823-7516

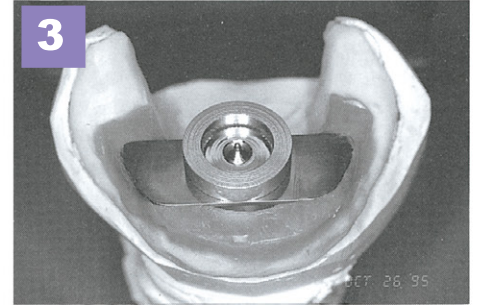
# トレーサーの設置



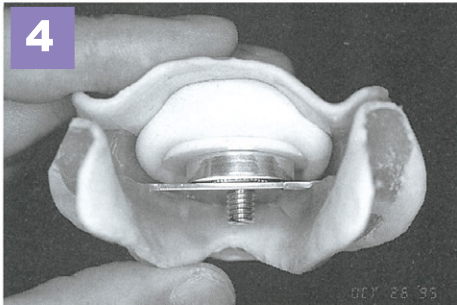
1 咬合平面に平行につけたいため、咬合床にトレーゼンをのせて描記板をおき、その上にスペーサーをのせる。



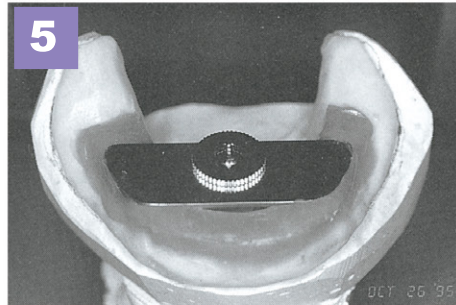
2 平板（この場合は咬合平面ガイド・スパチュラ）でおせば、下顎スペーサー分が高くなり、描記板がトレーゼンで合着できる。



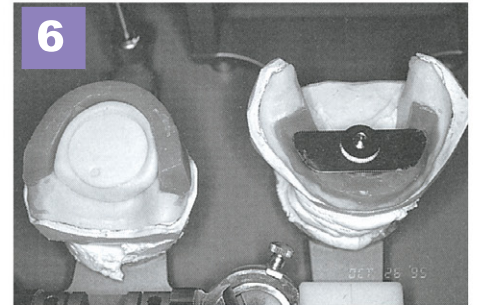
3 次に下顎に描記針部をつけるため再度スペーサーをのせる。（既に①②で付着した描記板に対し、描記針部をつける目的で）



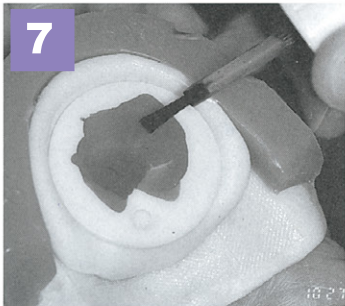
4 上顎にあわせて、軟化した蠟堤と組み合わせると、描記板・描記針は直角関係で付着することができる。



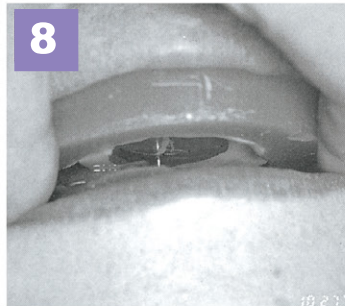
5 下顎に付着完了したトレーシング・ピン



6 上下顎に付着完了した状態



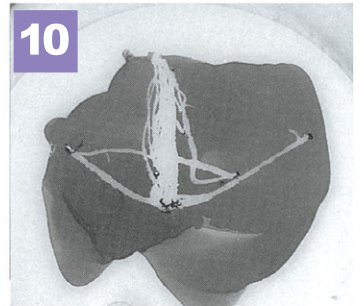
7 インク塗布



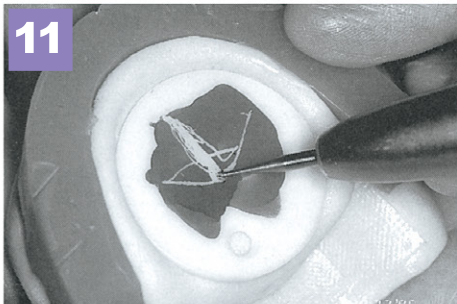
8 口腔内に装着し、ほどよい咬合高径に描記針を延長（高さの調節）する。1回転まわすと1mm 挙上・降下できる。



9 調節ネジは、ネジ側に1ヶ所、本体側に4ヶ所、90度間隔の目印がついている。



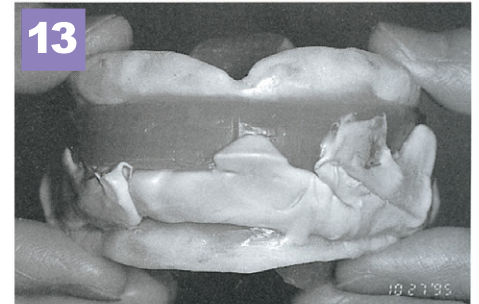
10 口腔内にて描記したゴシックアーチ



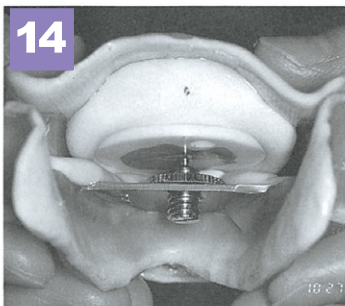
11 中心位に保持孔を設置するため孔を掘る。必要なら側方位（左右）、前方位にも削孔する。



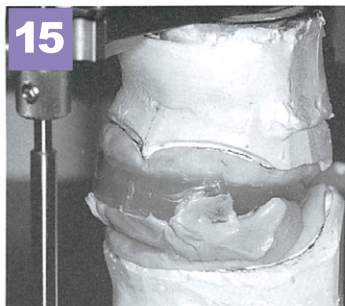
12 シリコン材料もしくは石膏でチェックバイト採得



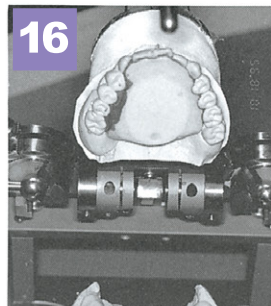
13 チェックバイト前方観



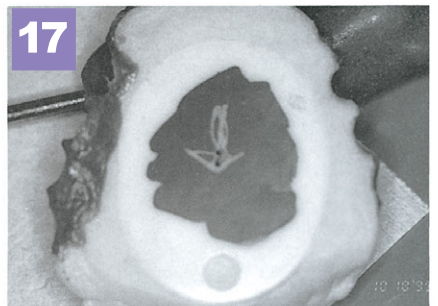
14 チェックバイト後方観



15 リマウント完了



16 有歯顎への使用例



17 有歯顎への使用例

販売名：HAゴシックアーチ・トレーサー  
 医療機器製造販売届出番号：13B2X10261002000号  
 〔一般医療機器〕 歯科咬合採得用材料 JMDNコード：70883000  
 製造販売元：株式会社 東京歯材社